

農業・林業

先人たちからの
知恵や技術を受け継ぎ、
製材加工までを含め、
大切に育まれてきた農業・林業。
人々の想いととも発展してきました。



柿

果肉たっぷりの甘い柿は、絶品。
刀根早生や富有などの品種を栽培しています。

梅

おもに梅干しや梅酒に加工
され、おみやげとしても喜ば
れる特産品のひとつです。



吉野杉

豊かな森林資源を有する当町
の特産として育てられており、
町の木にも指定されています。

木工製品



森林資源を活用した
木工業は、町の主要産業です。
特に割箸の歴史は、
南北朝以前にまでさかのぼる
伝統産業として定着しています。
またこれらの製作技術は、
日本遺産に登録されています。



割箸

下市町は割箸発祥の地といわれています。芳香と美しい木目で知られる下市の割箸。吉野杉は木目が均一で美しく、間伐材や端材を利用してできた吉野杉箸はエコに繋がります。



三宝

三宝はいにしえより下市にお
いて生産されている吉野桧を
加工した伝統産業です。一般
的に、お正月の鏡餅を載せたり、
神棚にお供える台として
使用されています。下市町の
三宝は国内シェアの80%以上
を占めています。

神具

伝統的な技術で精巧に
つくりあげられ、高い評
価を受けています。



神酒の口

神具の一種で、神棚にそなえる神酒徳利
の口に挿す装飾品。その形は「火と水」を
象って構成されています。

寺社・歴史

中世以降、多くの人や物が集まる
市場町であるとともに、
大峯参りの宿場町としても
にぎわった下市町。
悠久の時の流れを感じてください。



願行寺

室町時代、本願寺第8世蓮如上人が吉野地方布教の拠点として創建した寺で、「下市御坊」とも呼ばれています。本堂と大書院との中間に位置する庭園は、石組みを主とし、玉石を敷きつめ、平坦地を水面に見立てた枯山水式平庭を取り入れた重要文化財です。



丹生川上神社下社

白鳳四年(676年)に創立されたといわれる式内社・丹生川上神社に指定されている大社で、水の神として奉られ、恵みの雨をもたらすとされてきました。本殿まで続く木製七十五段の階(きざはし)が特長で、一年を通し6月1日の例祭の日のみ、この階を登りて本殿を間近に参拝が許されます。



下市札と初市

「下市札」は日本で最初の商業手形といわれています。また現在2月12日に行われる下市初市は多くの露店が連なり、楽しいイベントがいっぱい!



下市花ごよみ

山を、里を、美しく彩る花たち。
清々しい空気のなかで、
美しい風景をお楽しみください。



広橋梅林

奈良県三大梅林のひとつで、白梅を中心に約5000本の梅の木があります。見頃は3月上旬から3月下旬。散策道も整備されているので、葛城山や金剛山、大和平野を見渡す絶景を楽しみながらのピクニックもオススメです。



木蓮の里

4月上旬、桜前線を追うように、秋野川沿いに植えられた白木蓮が大輪の花を咲かせます。



シャクヤク

薬草のまち下市町の輪を広げようと、根が生薬の材料であるシャクヤクが植えられています。見頃は5月中旬。

直売所・観光施設

新鮮で安全な農林産物や加工品等を販売!



下市元気印朝市

TEL 0747-52-0001
「下市町役場(地域づくり推進課)」
毎週土曜日【下市観光文化センター】
●4月～10月／8時～10時
●11月～3月／9時～11時



栃原 道しるべ

TEL 0747-53-0831
毎週土・日曜日
●8時～16時



どろんこ畑

TEL 0747-52-6600
毎週月～金曜日
●9時～16時



下市観光文化センター

TEL 0747-52-1711(代)
イベント、催し物、カルチャー教室等多目的に活用できる施設です。下市の歴史が分かる展示室もあります。

アメニティセンターせせらぎ

TEL 0747-52-0001
吉野川に面した下市の玄関口にあり、町のシンボルとなる建物です。



札の辻ステーション

TEL 0747-58-8002
割箸・木工品などの地場産品や、町内で採れた新鮮野菜などを販売しています。



かぶと虫の森(7月上旬～8月中旬)

TEL 0747-52-0001
自然に近い状態でカブトムシを観察! 夏は子供たちの歓声が響いています。